

第2回 都市計画道路殿町羽田空港線ほか
道路築造工事に係る河川河口の環境アドバイザー会議

(平成29年12月7日開催)

主な意見と指摘事項と対応について

1. 秋季モニタリング調査結果について

指摘事項	対応
水質調査について、海老取川河口部（地点1）は、森ヶ崎下水処理場の影響を受けている可能性があるため、合流部よりも上流で測定してもいいのではないかと。	海老取側上流部に新たに「測定1」を設定いたしました。（資料-7, P1 参照）
鳥類調査の飛翔高度の平面分布（別紙資料）について、今後も同じような整理方法で続けていくこと。	冬季調査結果のまとめにつきましても、同様に整理いたしました。
底生生物調査時の塩分は、地盤高で整理するのではなく、地点別で整理すること。	報告書ではご指摘の通りまとめます。
ヤマトシジミとアサリの地盤高との関係は、個体数ではなく湿重量でも整理すること。	報告書ではご指摘の通りまとめます。

2. コアマモについて

指摘事項	対応
コアマモの群落変化について、台風の影響か工事等による影響か評価できるように、工事前の状況を頻りに調査すること。	冬季調査では、潮位が高く堆積物が舞い上がり確認できませんでした。4月に生育している状況を確認いたしました。（別添1）
コアマモの写真や工事状況図を公表した方がよい。公表の方法は、PR館での展示やそこからの発信として川崎市のHPに掲載する等できないか。年度末の報告書の公表では、タイムラグができるし、一般の人には分かりにくい。	工事状況は、HP掲載の「はねれんだより」で公表しております。コアマモの状況報告の方法につきましては、本検討にて相談させていただきます。
工事作業員にもコアマモについて周知徹底して、注意して作業に取り組むように指導すること。	今後の経過観察によりますが、現地周辺の浚渫工事の際に、周知徹底いたします。
コアマモについては、貴重種扱いとしてモニタリングして欲しい。	冬季魚類調査時にコアマモのモニタリングを実施いたしました。今後も定期環境モニタリング時に、群落の範囲、草長等を記録いたします。